

東海学院大学・東海学院大学短期大学部公開講座 2023

「にこやかに生きる ～大学は知の宝庫～」

第2回 10/16 (月) 13:30～15:00 報告

自宅で簡単にできる介助支援 (洗髪)

講師 岩本 義浩 (本学准教授)

於：図書館大セミナー室

◆◆◆◆◆◆◆*◆◆◆◆*◆◆◆◆*◆◆◆◆*◆◆◆◆*◆◆◆◆*◆◆◆◆*

障害福祉論を専門とされる岩本義浩先生は、身体障害者療護施設介護職員、地域生活支援センターにおいてはホームヘルパー兼副センター長、現在は本学始め東海・関東エリアにおいて介護教員としてご活躍されております。

福祉を学ぼうと決意することとなったきっかけは、南アフリカ共和国鉄鉱石船(1983年4月7日)で仕事をしていたことです。場所はサルダニャ(A地点)において作業が行われました。ここで出会った現地労働者との会話やアパルトヘイト(人種隔離政策)の実態を目の当たりにしました。南アフリカではアジア人のうち日本人は名誉白人¹としてショアパス(Shore pass:数次乗員上陸許可)の優遇を受けたことに疑問を感じました。

差別についての疑問は福祉を学ぶことで解決すると考え、福祉を学ぶために大学へ進学しました。卒業後は身体障害者の人権について考えていきたいと地域生活支援に関わる仕事をしました。仕事の多くは障害者を外出させる業務を中心に行っていました。

「障害者のための国際シンボルマーク(内閣府)」のステッカーを付けた車を見かけます。障害者が利用可能な建築物、輸送機関であることを示す世界共通の車いすマークです。日本障害者リハビリテーション協会商標登録(第1562455)です。「身体障害者マーク(警察庁)」四つ葉のクローバーのデザインのステッカーも見かけます。こちらは警察庁交通局交通企画課が所管するもので、肢体不自由であることを理由に自動車運転免許に条件を付された人が運転する車に表示するものです。これらを表示させた車は福祉車両で通行禁止除外指定車として指定除外許可証を取得しています。ただし、病院・クリニック等の駐車場における障害者乗降の際、不便がある場合に限り本来の駐車場以外の駐車を特別に許可されるものであり、街中や観光地などどこでも駐車可能ということではありません。

介護については次の項目があげられます。身じたくの介護、食事の介護、排泄の介護、休憩・睡眠の介護、入浴の介護です。そのうち本日の講演テーマでもある入浴介護の洗髪について、本学学生の実演動画を交えて話を進めます。洗髪を今回の内容に取り上げたきっかけは、過去に介護施設に入居していた男性との会話からです。首を骨折(頸髄損傷)したことで、首から下は麻痺した状態です。その方に自宅でお会いした際「夏場などは介助者がいないことで入浴できず頭のかゆみが発生し一週間以上洗髪できていない」と聞か

¹ アパルトヘイト下の南アフリカでは、白人を最上位とした制度が敷かれており、黄色人種を含む有色人種は総じて差別対象となったが、日本が南アフリカの貿易相手国として重要な位置にあったことから、制度上の措置として、日本人などが白人と同等の民族と見なされた。

れました。そこで介護者や同居する家族がより簡単に洗髪する方法を考えました。障害者を椅子に座らせた状態で洗髪する方法です。

(映像)準備するもの、大きめのビニール袋(首、両腕を通す穴を開けておいて被せる)、バスタオル(体にかけるものと洗髪後に髪を拭く)、フェイスタオル、輪ゴム(体にかけたバスタオルの前を縛る)、洗面器、ピッチャー(適温の湯を入れ頭にかける)、シャンプー、リンス、使い捨て手袋(洗う人が着用)などです。なお、頭皮の湿疹等の有無を必ず確認し洗髪の可否を判断します。

流し台との間を適度に空け、流し台を背にして椅子に座らせます。大きめのビニール、バスタオルなどすべて着用させたのち、ピッチャーに適温の湯を入れ、障害者に熱さを確認してもらいます。その後椅子の前を15cm上げて20度の傾斜を作り、流し台の洗い場に障害者の頭が入るようにセットします。首が痛い場合は、枕にビニールをかけたものを首の下に当てます。ピッチャーのお湯を髪にかけシャンプーをします。指の腹で爪を立てないように気をつけて優しく洗ったあと、しっかりシャンプーの泡を洗い流します。流し台のカランでシャワー切り替え可能な場合はそちらを使用することを進めます。洗髪後はバスタオルで髪を毛を纏めて拭き早めにしっかり乾かします。目・鼻・耳にも水が入りやすいため洗髪後、併せて拭きとることが必要です。

洗髪後に「気持ちよかった」と言われるととても嬉しかった経験があります。皆さんも試してみたいでしょうか。

講演後、参加者の方々から障害者の場合と高齢者の場合についての具体的な質問もありました。仰向けはあくまでも頸髄損傷の方に行う方法で、健常者にすることは難しい場合はうつ伏せの状態でも良いと回答されました。介護施設入居者の寝たきりの人の場合は、頭部から上半身の下に大きめのビニールシートを敷き、上半身の衣類は脱がせてバスタオルを被せ、ベッドの頭部側の柵を外して洗髪する方法もあります。

2025年に国民の5人に1人が後期高齢者(75歳以上)という超高齢化社会を迎えます。健全であれば問題ありませんがそうでない場合もあります。個人レベルでは不可能でも地域全体で人とのつながりを大切にしていけることが最善策かもしれません。

【講座の様子】

